



浅間山麓のキャベツ畑

| | |
|---------------------------|-----|
| 令和2年度嬬恋郷土資料館友の会総会開催 | P-1 |
| 嬬恋郷土資料館 局長補佐滝沢由美氏赴任 | P-1 |
| 嬬恋郷土資料館 主事齋藤忠相氏赴任 | P-2 |
| 嬬恋郷土資料館 熊川武彦氏赴任 | P-2 |
| 嬬恋郷土資料館 山崎智恵美氏赴任 | P-2 |
| 令和3年度ボランティアガイド養成講座開催 | P-3 |
| 「直売所にフィアット600現る！」が好評のうち終了 | P-3 |
| 嬬恋村の文化財「円通殿」 | P-4 |
| お知らせ | P-4 |

編集 嬬恋郷土資料館友の会 2021年6月発行 第 33号

嬬恋郷土資料館 友の会だより

嬬恋郷土資料館「友の会」（宮崎光男会長）では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大により様々な企画、活動を自粛せざるを得なくなりましたが、今回の「友の会だより」第33号では、令和2年度・令和3年度上半期のイベントや活動の様様をダイジェストとしてご紹介いたします。

令和2年度嬬恋郷土資料館友の会総会が開催されました

令和3年3月23日、地域交流センターにて令和2年度総会が会員10名の出席をいただき開催されました。令和2年度事業報告及び収支決算、令和3年度事業計画案及び予算案が審議され、いずれも承認をいただきました。

(欠席の会員の皆様方には総会資料を送付させていただきました。)



嬬恋郷土資料館 局長補佐滝沢由美氏が赴任されました



4月から土屋の後任としてお世話になっています。郷土資料館の仕事をするのは初めてで、嬬恋生まれ嬬恋育ちですが、浅間山のこと、文化財のこと知らないことがたくさんあって驚いています。なれないうちにコロナウイルスの感染予防のため休館になってしまい戸惑うことの多い日々を過ごしています。早くこの仕事にも慣れて、皆様にご迷惑をかけないよう頑張っていきたいと思っていますので、ご協力をよろしく願いいたします。

滝沢由美

孀恋郷土資料館 主事齋藤忠相氏が赴任されました



4月より文化財担当として資料館に配属となりました。着任して約2ヶ月間、日頃から文化財の保護などに深く関わっている方々と一緒に仕事をさせていただきましたが、孀恋生まれ、孀恋育ちでも知らないことばかりだと実感しています。これを機に故郷の歴史や文化と改めて向き合い、先人の皆様が守り繋いできた文化財を後世へと残していけるよう、一つ一つの仕事を大切にこなしていければと考えています。精一杯取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

齋藤忠相

孀恋郷土資料館 熊川武彦氏が赴任されました



4月から再任用職員として勤務しています。役場職員や村民として資料館や天明の噴火は承知しているつもりでしたが、ボランティアガイド養成講座などに参加させていただき、知らないことだらけに気がつきました。現在、鎌原の郷倉の保存活用事業に携わっていることや、今後行われるであろう延命寺の発掘なども楽しみにしています。今後は、より多くの方に孀恋郷土資料館を知っていただけるような仕事をしたいと思いますので、よろしくお願いします。

熊川武彦

孀恋郷土資料館 山崎智恵美氏が赴任されました



4月より会計年度職員として、孀恋郷土資料館でお世話になっています。孀恋村に生まれて、育ちましたが、ボランティアガイドさんの話を聞いて、地元の歴史を知りました。孀恋村の良いところを伝えられる仕事をしたいよう頑張ります。

山崎智恵美

令和3年度のボランティアガイド養成講座が開かれました



4月10日(土曜日)に資料館ボランティアガイド養成講座が開催されました。坂岡、小宮各講師により新プロジェクトマップ、各展示ガイドの講習を行いました。当日は8名の参加者があり、新たに1名の方のボランティアガイド申し込みをいただきました。資料館ボランティアガイド要員の充実が期待されます。

特別企画展「直売所にフィアット600現る!」が好評のうち終了しました

孺恋郷土資料館特別展示室にて「直売所にフィアット600現る!」が令和2年11月9日より開催されました。特別企画展に合わせ令和3年4月29日から5月5日までは日本で現存最古とみられる「フォードソフ型」や県内で最初に導入された「フォードデキスター」などをはじめとし、最新型のトラクターなどを合わせ追加展示いたしました。7日間で1,000人を超える方々が興味深くキャベツ畑開拓の戦士たちに見入っていました。



フィアット600型トラクター

フォードソフ型トラクター



夏秋キャベツ生産日本一の群馬県孺恋村内に、約100年前に製造された鉄車輪の乗用トラクター「フォードソフ型」を所有されている方がいらっしゃいました。国内に現存するF型の中では最も古いものとみられます。フォードソフ型は、アメリカの自動車王フォードの自動車会社からトラクター部門が独立したフォードソン社の製品です。郷土資料館関俊明館長が調査し、国内に現存するトラクターなどと比較しました。所有者の金子さんのF型は札幌市の三谷牧場で使われた3台のうちの1台でした。他の2台は戦時中に「零戦」を牽引(けんいん)するため軍に徴用されたという話が伝わっています。「高原の開墾などに活躍したトラクターは農業の近代化や機械化の生き証人。今日のキャベツ王国を築く礎になった」。 (4月8日付朝日新聞デジタル版記事より抜粋)

連載(5) 孀恋村の文化財「円通殿」(村指定重要文化財)

孀恋村干侯地区の旧干侯小学校跡近くに常林寺の住職旭邦本輝(きよくほうほんき)が閑居したと言われる庵があります。その庵の仏殿として18世紀中ごろに建立されたのがこの円通殿です。

正面3間、側面変則3間の方形造りの小型寺社建築で唐風の向拝、二層の屋根、えびのように曲がった虹梁、彩色された木鼻、禅宗様といわれる建築様式です。

お堂内部には3分割された須弥壇(しゅみだん)が設置されており、それぞれに禅宗様の特徴である花頭窓状(かとうまどじょう)の枠に仏様が安置されています。

ご本尊は薬師如来とされています。

華やかで重みのある見事なお堂で、この山里に禅宗文化が開花し、また信仰、文化の中心であったことを物語っています。

明治維新後は、この円通殿が発足したばかりの小学校の仮校舎ともなったそうです。



お知らせ

・長野原町営「やんば天明泥流ミュージアム」がこの4月3日にオープンいたしました。天明3年の浅間山の大噴火により発生した「天明泥流」に埋没した当時の村の様子、人々の暮らしが体感できるミュージアムとなっています。また、明治44年に建てられた県内最古級の木造校舎、長野原町立第一小学校旧校舎の一部も移築され、小学校、町ゆかりの資料も展示されています。道の駅「ハッ場ふるさと館」から孀恋村方面へ徒歩10分の場所にあります。開館時間は9時から16時半まで、水曜日が休館日、有料となっています。

・孀恋村では鎌原城「御城印」が、鎌原家ご当主の鎌原郷司氏のご協力で完成いたしました。通常版は城名と家紋を、特別版では鎌原城址のある断崖をイメージしキャベツをアレンジした紋(玉菜紋)を配したものです。2種類の御城印は4月1日より孀恋村観光案内所もしくは孀恋郷土資料館でお買い求めできます。

御城印とは、お城に登城または訪れた記念として発行しています。和紙等に城名やゆかりある城主の家紋等を押したものです。



通常版



特別版